

県勢主要統計指標

第 3 9 7 号

平成 2 9 年（2 0 1 7 年）5 月

大分県企画振興部統計調査課

今月の概要

1 大分県の推計人口(平成29年4月1日現在)

県人口	1,152,383人	(対前月 4,120人減少)
前1ヵ月間の自然動態	595人減少	(出生者数 696人、死亡者数 1,291人)
社会動態	3,525人減少	(転入者数 6,893人、転出者数 10,418人)

2 県内経済の動向

2-1 主要経済指標の動向

- 1 鉱工業指数 平成29年3月の鉱工業生産指数(季節調整済指数、平成22年=100)は95.7(前月比▲2.5%)となり、2か月ぶりに低下した。
- 2 消費者物価 平成29年3月の大分市消費者物価指数(平成27年=100)は100.2となり、前月に比べ0.4%上昇した。
- 3 大型小売店販売額 平成29年3月の大型小売店販売額は90億45百万円で、前年同月に比べ全店ベースで▲4.0%と4か月連続の減少、既存店ベースで▲4.0%と4か月連続の減少となった。
- 4 外国貿易 平成29年3月の輸出額は723億45百万円(前年同月比+60.8%)で6か月連続のプラス、輸入額は896億円53百万円(同+30.9%)で2か月ぶりのプラスとなった。
- 5 公共工事 平成29年4月の県内公共工事請負金額は273億11百万円で、前年同月に比べて+84.5%と8か月連続で増加した。
- 6 新設住宅着工 平成29年3月の新設住宅着工戸数は503戸で、前年度同月比▲21.0%と4か月ぶりのマイナスとなった。内訳では貸家が減少した。
- 7 企業倒産 平成29年4月の県内企業倒産は、件数が2件(前年同月比▲66.7%)、負債総額が145百万円(同▲96.8%)となった。
- 8 職業紹介 平成29年3月の有効求人倍率(季節調整値)は、前月を0.05ポイント上回り、1.36倍となった。

2-2 景気動向指数(DI)(平成29年3月分)

先行指数	60.0%	(2か月ぶりに50%を上回った)
一致指数	57.1%	(5か月連続して50%を上回った)
遅行指数	100.0%	(3か月連続して50%を上回った)

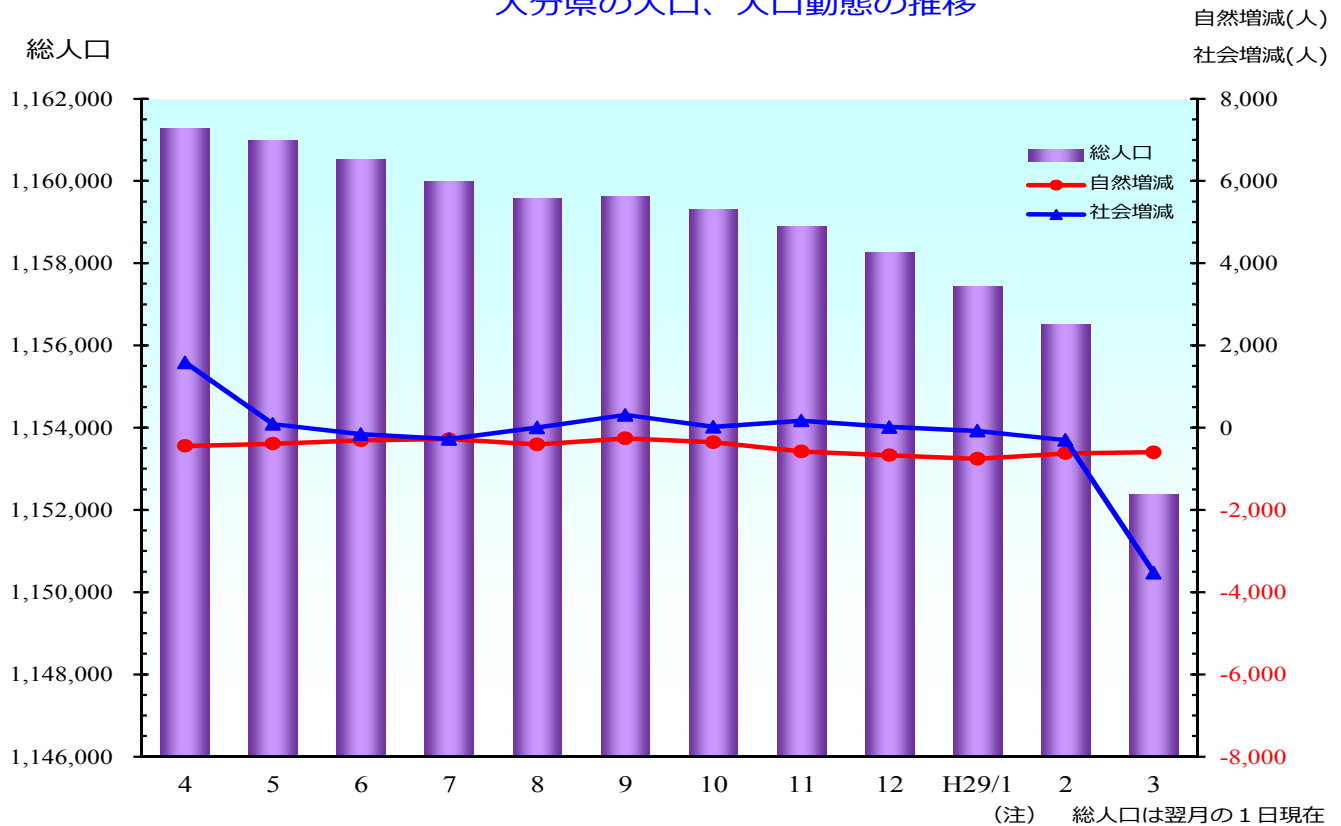
指標一覧・目次

番号	指標名	大分県	全国	頁
1	大分県の推計人口	(平成 29 年 4 月 1 日現在) 1,152,383 人 (前月比 ▲4,120 人▲0.36%) (前年同月比 ▲7,749 人 ▲0.67%)	(平成 29 年 4 月 1 日現在) 1 億 2,679 万人 (前月比 +3 万人 +0.02%) (前年同月比 ▲19 万人 ▲0.15%)	1
2-1-1	鉱工業指数	(平成 29 年 3 月) 生産指数(季節調整済指数)95.7 (前月比 ▲2.5%) (原指数 前年同月比 ▲1.4%)	(平成 29 年 3 月) 生産指数(季節調整済指数)99.8 (前月比 ▲1.9%) (原指数 前年同月比 +3.5%)	2
2-1-2	消費者物価	大分市(平成 29 年 3 月) 総合指数 100.2 (前月比 +0.4%) (前年同月比 +0.5%)	(平成 29 年 3 月) 総合指数 99.9 (前月比 +0.1%) (前年同月比 +0.2%)	3
2-1-3	大型小売店販売額	(平成 29 年 3 月) 総額 9,045 百万円 (前年同月比 (全店) ▲4.0%) (前年同月比 (既存店) ▲4.0%)	(平成 29 年 3 月) 総額 1,631,150 百万円 (前年同月比 (全店) ▲0.9%) (前年同月比 (既存店) ▲0.8%)	4
2-1-4	外国貿易	(平成 29 年 3 月) 輸出総額 72,345 百万円 (前年同月比 +60.8%) 輸入総額 89,653 百万円 (前年同月比 +30.9%)	(平成 29 年 3 月) 輸出総額 7,229,637 百万円 (前年同月比 +12.0%) 輸入総額 6,615,591 百万円 (前年同月比 +15.8%)	5
2-1-5	公共工事	(平成 29 年 4 月) 総額 27,311 百万円 (前年度同月比 +84.5%) (前年度同期比 +84.5%)	(平成 29 年 4 月) 総額 2,064,576 百万円 (前年度同月比 +1.7%) (前年度同期比 +1.7%)	6
2-1-6	新設住宅着工	(平成 29 年 3 月) 着工戸数 503 戸 (前年度同月比 ▲21.0%) (前年度同期比 +0.4%)	(平成 29 年 3 月) 着工戸数 75,887 戸 (前年度同月比 +0.2%) (前年度同期比 +5.9%)	7
2-1-7	企業倒産	(平成 29 年 4 月) 件数 2 件 (前年同月比 ▲66.7%) 負債総額 145 百万円 (▲96.8%)	(平成 29 年 4 月) 件数 680 件(前年同月比▲2.1%) 負債総額 1,041 億円 (同+0.7%)	8
2-1-8	職業紹介	(平成 29 年 3 月) 有効求人倍率 1.36 倍 (前月差 +0.05 ポイント) (前年同月差 +0.25 ポイント)	(平成 29 年 3 月) 有効求人倍率 1.45 倍 (前月差 +0.02 ポイント) (前年同月差 +0.14 ポイント)	9
2-2	景気動向指数 (DI)	(平成 29 年 3 月) 一致指数 57.1% 5 か月連続して 50%を上回った	(平成 29 年 3 月) 一致指数 50.0% 10 か月ぶりに 50%となった	11

1 大分県の推計人口

平成 29 年 4 月 1 日現在の本県の推計総人口は 1,152,383 人で、前月に比べ 4,120 人減少した。前月との増減要因をみると、自然動態で 595 人の減少、社会動態で 3,525 人の減少となっている。

大分県の人口、人口動態の推移



単位：人、世帯

毎月	総人口	1ヵ月間の人口動態							世帯数
		人口増減	自然動態			社会動態			
			出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	
H28/3	1,160,132	-3,743	804	1,284	-480	7,414	10,677	-3,263	486,265
4	1,161,280	1,148	700	1,142	-442	6,380	4,790	1,590	488,320
5	1,160,983	-297	789	1,175	-386	2,672	2,583	89	488,611
6	1,160,524	-459	728	1,032	-304	2,233	2,388	-155	488,779
7	1,159,975	-549	766	1,041	-275	2,354	2,628	-274	488,654
8	1,159,579	-396	824	1,227	-403	2,829	2,822	7	488,732
9	1,159,634	55	782	1,039	-257	2,893	2,581	312	489,265
10	1,159,306	-328	799	1,150	-351	2,155	2,132	23	489,283
11	1,158,902	-404	705	1,280	-575	2,123	1,952	171	489,294
12	1,158,254	-648	681	1,349	-668	2,154	2,134	20	489,163
H29/1	1,157,422	-832	718	1,475	-757	2,062	2,137	-75	488,919
2	1,156,503	-919	654	1,274	-620	2,311	2,610	-299	488,664
3	1,152,383	-4,120	696	1,291	-595	6,893	10,418	-3,525	488,535
この1年間の計		-7,749	8,842	14,475	-5,633	37,059	39,175	-2,116	—

(注) 総人口は翌月の1日現在

注)人口及び世帯数は、平成27年国勢調査による確定人口及び世帯数を基にした当該月の翌月1日現在の推計値です。

資料：県統計調査課「大分県の人口推計結果【月報】平成29年3月分」

2-1-1 鋳工業指数

平成 29 年 3 月の大分県鋳工業生産指数（季節調整済指数）は 95.7（前月比▲2.5%）となり、2 か月ぶりに低下した。前月に比べ上昇した業種は「プラスチック製品工業」、「化学・石油製品工業」、「電気・情報通信機械工業」等の 7 業種で、低下した業種は「電子部品・デバイス工業」、「パルプ・紙・紙加工品工業」、「鉄鋼業」等の 7 業種となっている。

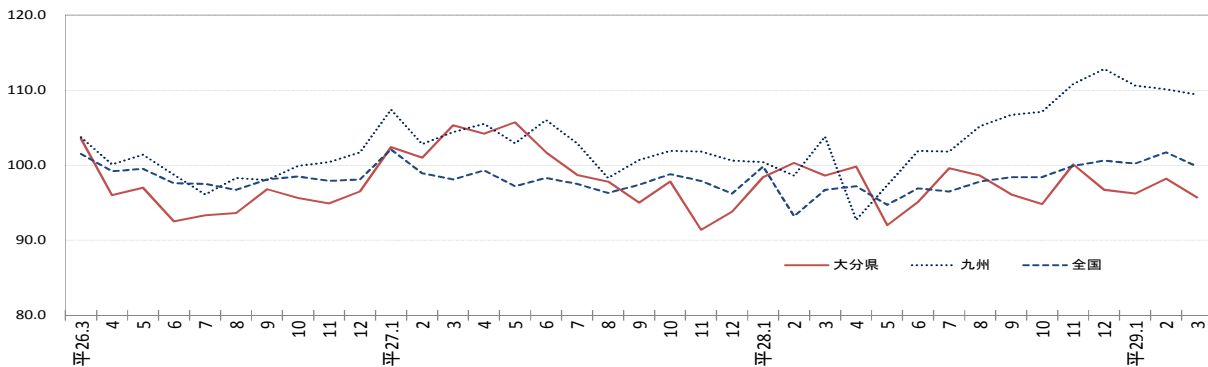
平成 22 年=100

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前月比 (%)		前年同月比 (%)
大分県	生産	95.7	▲ 2.5	98.0	▲ 1.4
	出荷	91.3	0.6	96.6	▲ 2.4
	在庫	88.6	▲ 0.6	85.2	▲ 3.6
全 国	生産	99.8	▲ 1.9	112.0	3.5
	出荷	98.4	▲ 0.8	113.9	3.5
	在庫	109.7	1.5	101.9	▲ 4.0
九 州	生産	109.4	▲ 1.4	117.2	7.7
	出荷	113.4	2.7	123.6	6.4
	在庫	114.5	2.5	110.5	▲ 4.0

※九州は速報値 資料：経済産業省「鋳工業生産・出荷・在庫指数確報」、県統計調査課

鋳工業生産指数(季節調整済指数)の推移

平成22年=100

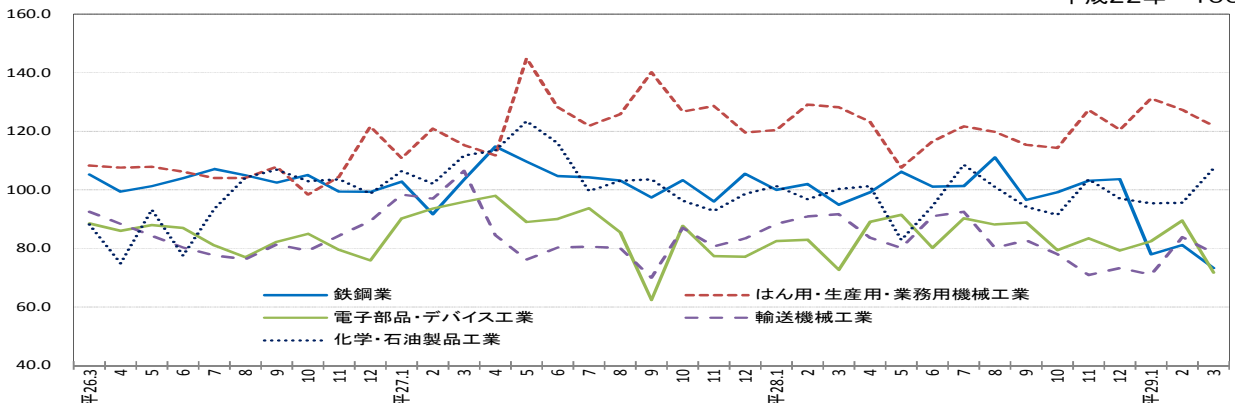


○業種別動向（生産指数）

上昇業種			低下業種		
業種名	前月比(%)	寄与率(%)	業種名	前月比(%)	寄与率(%)
プラスチック製品工業	15.8	▲36.7	電子部品・デバイス工業	▲19.5	81.7
化学・石油製品工業	12.2	▲71.5	パルプ・紙・紙加工品工業	▲11.9	6.8
電気・情報通信機械工業	10.9	▲5.4	鉄鋼業	▲9.7	41.7

大分県内主要業種の生産指数(季節調整済指数)の推移

平成22年=100

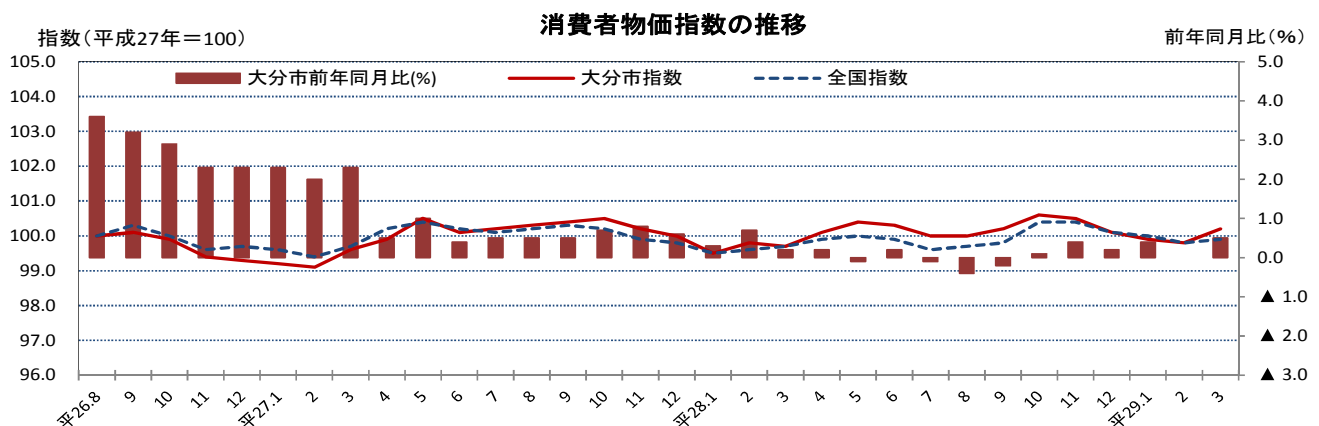


2-1-2 消費者物価

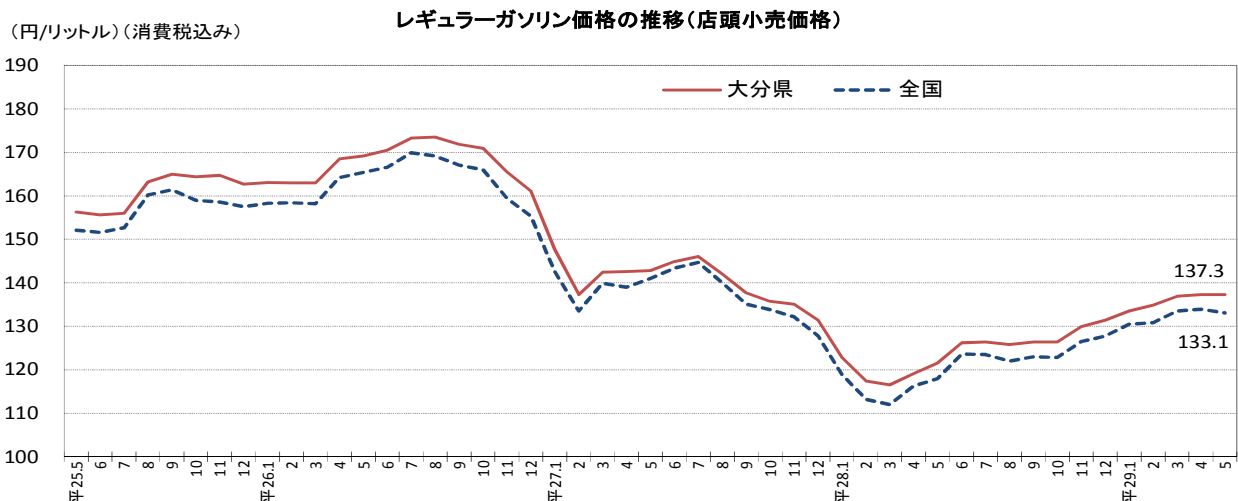
平成29年3月の大分市消費者物価指数は、平成27年を100としたとき100.2となり、前月に比べ0.4%上昇した。これを10大費目別にみると、「被服及び履物」がシャツ・セーター・下着類の値上がりなどにより5.5%上昇したこと、「家具・家事用品」が家庭用耐久財の値下がりなどにより1.4%下落したことなどによる。

費目	大分市				全国		
	ウェイト	平成29年3月指数	前月比(%)	前年同月比(%)	平成29年3月指数	前月比(%)	前年同月比(%)
総合	10,000	100.2	0.4	0.5	99.9	0.1	0.2
生鮮食品を除く総合	9,617	100.1	0.4	0.6	99.8	0.2	0.2
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	8,828	100.5	0.4	0.2	100.4	0.1	▲0.1
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	6,703	100.0	0.2	▲0.2	99.9	0.1	▲0.3
食料	2,625	101.9	0.6	0.6	101.9	▲0.3	0.5
生鮮食品	383	101.9	0.3	▲2.3	102.9	▲2.6	▲0.4
住居	1,896	100.8	0.2	0.0	99.8	0.0	▲0.2
光熱・水道	703	96.0	0.6	▲0.4	93.6	0.7	▲0.8
家具・家事用品	355	100.0	▲1.4	▲0.8	98.9	▲1.3	▲0.8
被服及び履物	412	100.2	5.5	2.9	101.4	2.0	0.6
保健医療	379	100.7	0.4	0.3	100.8	0.1	0.5
交通・通信	1,772	97.8	▲0.2	0.4	97.8	▲0.2	0.2
教育	238	103.0	0.0	2.2	101.9	0.0	1.0
教養娯楽	961	101.0	0.2	0.9	101.0	0.7	0.7
諸雑費	659	100.7	0.1	0.7	100.7	0.2	0.4

資料：総務省「消費者物価指数月報」、県統計調査課



参考：レギュラーガソリン価格の推移（店頭現金価格（消費税込み））



2-1-3 大型小売店販売額

平成 29 年 3 月の県内大型小売店販売額は 90 億 45 百万円、前年同月比は全店ベースで▲4.0%と 4 か月連続の減少、既存店ベースで▲4.0%と 4 か月連続の減少となった。

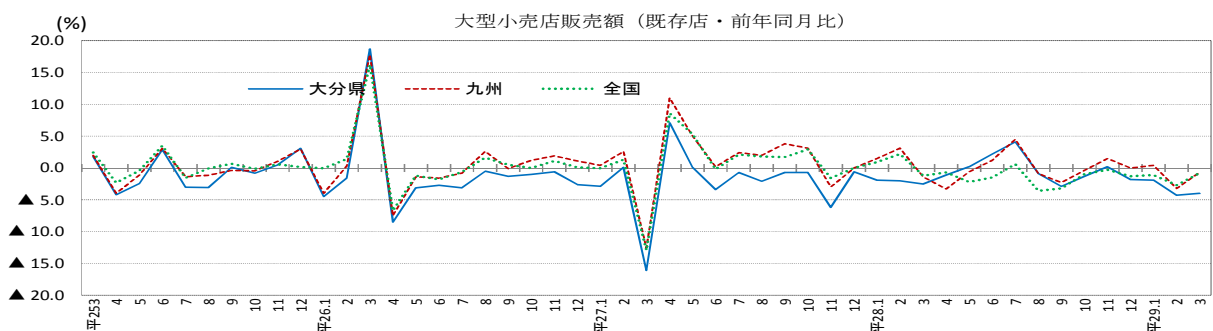
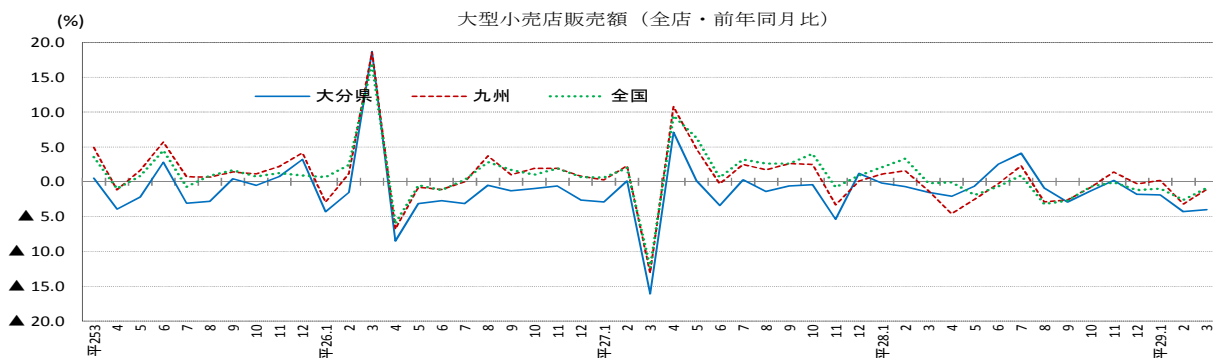
地域別 商品別	大分県			全国		
	百貨店	スーパー	計	百貨店	スーパー	計
	3 店	28 店	31 店	236 店	4,829 店	5,065 店
	販売額 (百万円)	前年同月比 (%)		販売額 (百万円)	前年同月比 (%)	
全 店		既存店	全 店		既存店	
総額	9,045	▲4.0	▲4.0	1,631,150	▲0.9	▲0.8
衣 料 品	2,918	▲6.0	▲6.0	354,767	▲5.2	▲4.2
飲 食 料 品	4,391	▲2.8	▲2.8	926,797	▲0.4	▲0.8
そ の 他	1,737	▲3.5	▲3.5	349,586	+2.4	+3.0

資料：経済産業省「商業動態統計」（平成 29 年 3 月分確報）

注 1：「百貨店」は、注 2 の「スーパー」を除き、売り場面積が特別区及び政令指定都市では 3,000 m²以上、その他の地域では 1,500 m²以上

注 2：「スーパー」は、売り場面積の 50%以上でセルフサービス方式、かつ売り場面積が 1,500 m²以上

注 3：「その他」は、家具、家電、家庭用品、食堂・喫茶など



○参考 コンビニエンスストアの動向（全店）（平成 29 年 3 月）

	大分県	九州	全国
店舗数	484	5,911	56,160
(前年同月比) (%)	2.8	2.1	2.1
商品販売額及びサービス売上高 (百万円)	8,163	104,544	969,831
(前年同月比) (%)	4.1	5.0	3.2

資料：経済産業省「商業動態統計」、九州経済産業局「九州コンビニエンス・ストア販売動向」（平成 29 年 3 月分確報）

注：調査対象は一定規模以上のコンビニエンスストアのチェーン企業本部。平成 25 年 1 月分から平成 28 年 8 月分までは「九州」には沖縄を含まない。平成 28 年 9 月分から沖縄を含む。平成 27 年 7 月分から既存店を廃止した。

2-1-4 外国貿易

平成 29 年 3 月の輸出額は 723 億 45 百万円（前年同月比+60.8%）で 6 か月連続のプラスとなった。船舶類、事務用機器、鉄鋼などが増加した。輸入額は 896 億 53 百万円（同+30.9%）で 2 か月ぶりのプラスとなった。石炭、揮発油、銅鉱などが増加した。

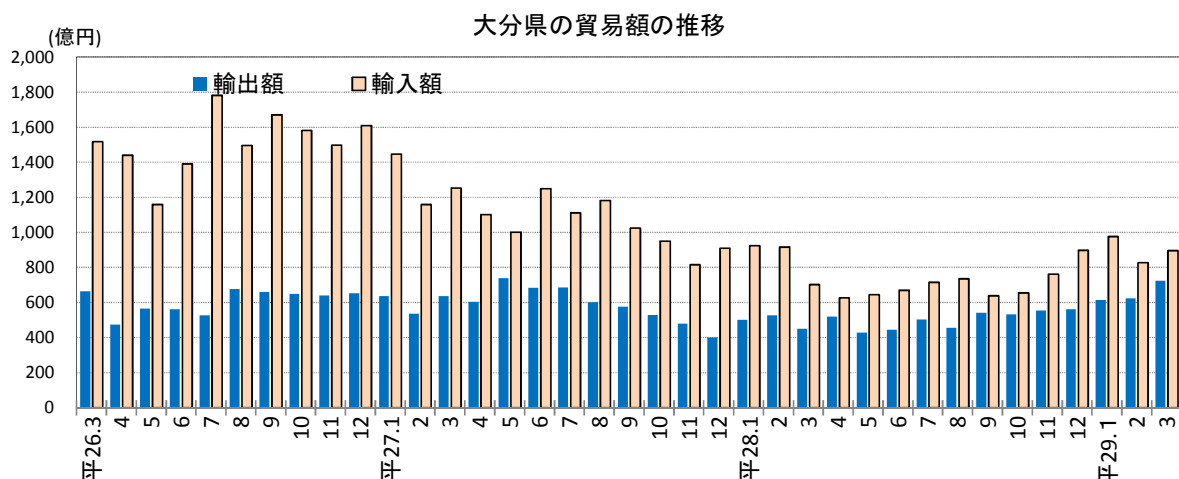
（3 月分速報）

（単位：百万円、%）

区分	輸 出				輸 入			
	主要品目等	29 年 3 月 価 額	前 年 同月比	前 年 同期比	主要品目等	29 年 3 月 価 額	前 年 同月比	前 年 同期比
大分県	総額	72,345	+60.8	+32.7	総額	89,653	+30.9	+6.9
大分港	有機化合物	9,410	+48.7	+29.4	鉄鉱石	17,852	+18.7	▲1.8
	プラスチック	809	+13.4	+13.0	銅鉱	20,890	+16.5	▲14.2
	鉄鋼	17,684	+43.1	+41.8	石炭	16,655	+63.1	+43.5
	銅及び同合金	11,109	+26.1	+2.5	原油及び粗油	8,673	▲5.8	+1.8
	事務用機器	10,670	+138.7	+69.0	揮発油	4,778	+310.9	+19.2
	映像機器	3,257	+26.1	+43.9	液化石油ガス	5,169	+35.0	+11.0
	船舶類	—	—	+21.9	液化天然ガス	10,185	+32.5	+7.3
	計	57,356	+40.1	+31.6	計	88,720	+30.0	+6.1
佐伯港	船舶類	3,231	全増	+192.5	石こう	39	全増	+77.8
	魚介類	—	—	▲60.6	植物性油かす	118	全増	全増
	木材	87	+68.8	+64.5	その他の調製食料品	—	—	全増
					魚介類	—	—	全増
					木材	—	—	全増
					船舶類	—	—	全減
	計	3,318	+6322.0	+182.2	計	156	+460.1	+231.5
津久見港	船舶類	10,956	+276.6	+27.4	石炭	410	+129.0	+30.4
	セメント	589	▲40.4	▲24.0	石油コークス	367	全増	+48.8
	石灰石	127	+32.8	+37.4	アルコール飲料	—	全減	▲61.6
	計	11,672	+191.6	+17.2	計	777	+280.1	+30.7
大分空港	再輸出品	—	—	▲10.2	通信機	—	—	—
					輸送用機器	—	—	▲0.7
					荷役機械	—	—	全増
	計	—	—	▲10.2	計	—	—	+15.9
全国	総額	7,229,637	+12.0	+8.5	総額	6,615,591	+15.8	+8.7

資料：財務省「貿易統計（輸出確報；輸入速報）」、大分税関支署「管内貿易概況」（平成 29 年 3 月分）

注）「前年同期比」は、暦年（1～12 月）累計の比較（増減率）



2-1-5 公共工事

平成29年4月の県内公共工事請負金額は273億11百万円で、前年度同月に比べて84.5%の増となり、8か月連続で増加した。発注者別では、県が前年度同月比で71.0%、国が同188.6%、独立行政法人等が同232.1%、その他の公共的団体が同1282.4%増加し、市町村が同21.1%減少した。

(単位:百万円、%)

項目 発注者	大分県				全国			
	29年 4月	前年度 同月比	29年度 累計	前年度 同期比	29年 4月	前年度 同月比	29年度 累計	前年度 同期比
総額	27,311	84.5	27,311	84.5	2,064,576	1.7	2,064,576	1.7
国	4,411	188.7	4,411	188.7	198,377	▲ 3.2	198,377	▲ 3.2
独立行政法人等	9,604	232.1	9,604	232.1	416,325	5.7	416,325	5.7
都道府県	4,980	71.0	4,980	71.0	676,071	5.8	676,071	5.8
市町村	5,747	▲ 21.1	5,747	▲ 21.1	632,546	5.2	632,546	5.2
その他の公共的団体	2,567	1,282.4	2,567	1,282.4	141,254	▲ 25.8	141,254	▲ 25.8

注1:「この統計は、公共工事の前払金保証を集計した業務統計であり、公共工事のほとんどをカバーしている。」(西日本建設業保証株)

注2:「独立行政法人等」には独立行政法人のほか、各高速道路(株)、国立大学法人、大学共同利用機関法人、特殊法人等を含む。

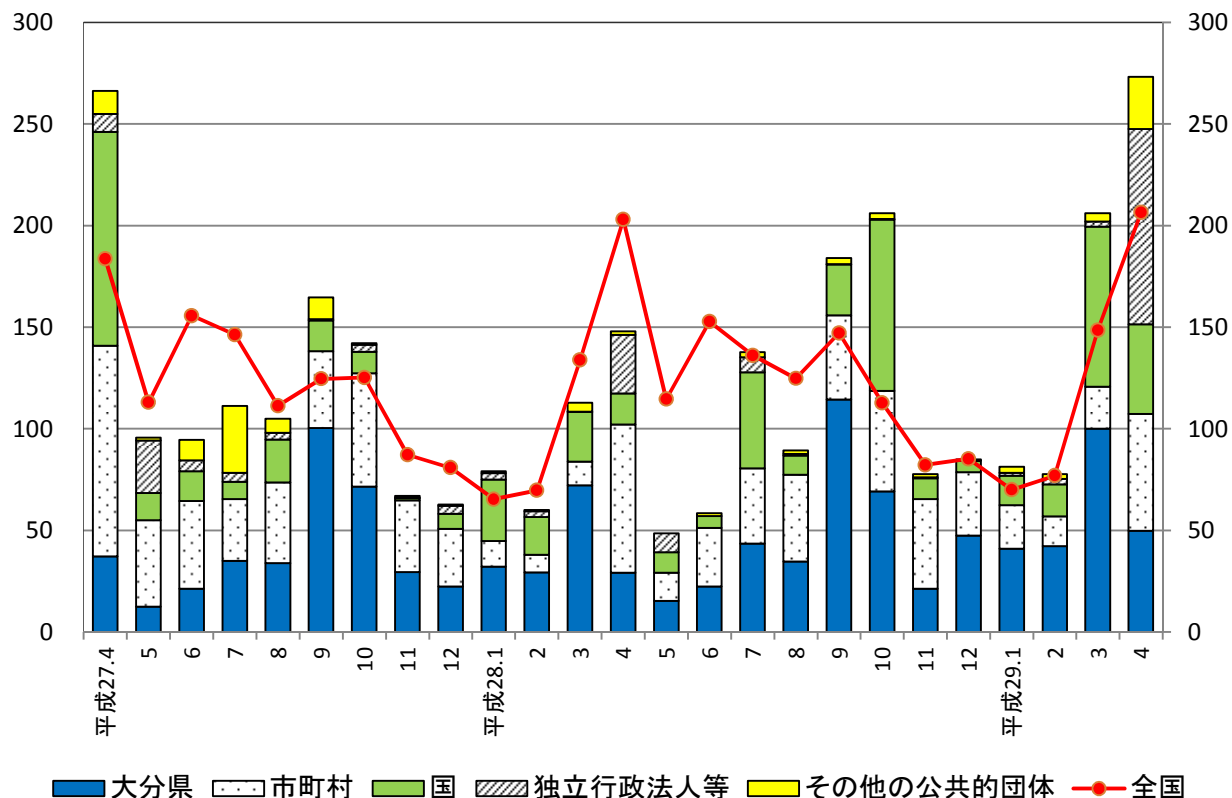
注3:「前年度同期比」は、年度(4月～翌年3月)累計の比較(増減率)

注4:「29年度累計」及び「前年度同期比」は、統計調査課で計算

大分県内の公共工事請負額の推移

大分県内(億円)

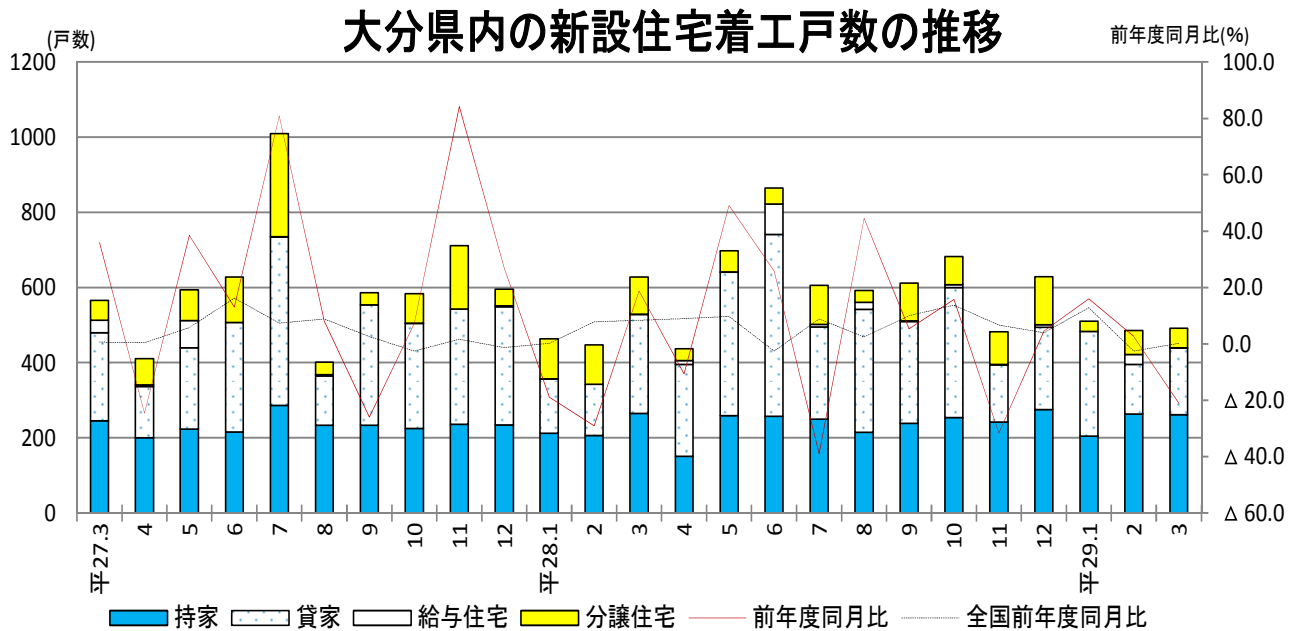
全国(百億円)



2-1-6 新設住宅着工

平成 29 年 3 月の新設住宅着工戸数は 503 戸で、前年度同月に比べ▲21.0%と 4 か月ぶりのマイナスとなった。内訳は、持家 261 戸(同▲1.5%)、貸家 177 戸(同▲32.7%)、分譲住宅 52 戸(同▲47.5%)などであった。

(単位：戸、%)



資料：国土交通省総合政策局「建築着工統計調査」、県建築住宅課

注：「前年度同期比」は、年度（4月～翌年3月）累計の比較（増減率）

○ 市町村別新設住宅着工戸数（29年3月）

(単位：戸数)

	持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	計
大分市	136	134	0	35	305
別府市	20	24	0	8	52
中津市	23	0	0	6	29
日田市	10	0	0	0	10
佐伯市	8	0	0	2	10
臼杵市	10	0	0	0	10
津久見市	2	0	0	0	2
竹田市	5	0	0	0	5
豊後高田市	3	0	0	0	3
杵築市	4	0	0	0	4
宇佐市	14	0	0	0	14
豊後大野市	6	0	0	0	6
由布市	8	18	13	1	40
国東市	6	0	0	0	6
姫島村	0	0	0	0	0
日出町	5	1	0	0	6
九重町	1	0	0	0	1
玖珠町	0	0	0	0	0
県計	261	177	13	52	503

資料：県建築住宅課

注：国土交通省と県建築住宅課発表の数値は、データ読み取り方法により異なる場合がある。

2-1-7 企業倒産

平成29年4月の県内企業倒産は、件数が2件（前年同月比▲66.7%）、負債総額は145百万円（同▲96.8%）となった。業種別では、卸売業1件、小売業1件、原因別では、その他2件であった。

大分県内企業倒産

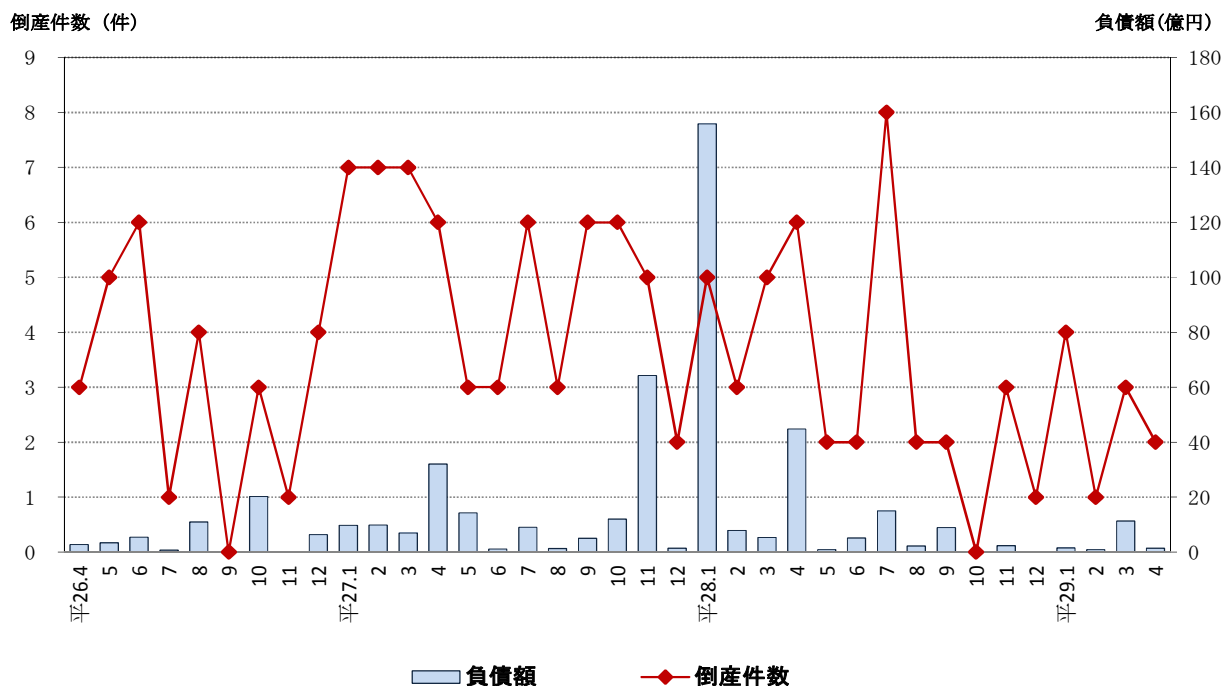
（単位：件、百万円、%）

	倒産 件数	負債 金額	1件当り 負債金額	原因別							
				放漫経営		販売不振		連鎖		その他	
				件数	負債額	件数	負債額	件数	負債額	件数	負債額
24	67	16,178	241	5	4,973	34	5,710	5	641	23	4,854
25	58	13,216	228	4	3,088	30	3,668	6	442	18	6,018
26	42	7,895	188	1	30	17	1,369	4	2,150	20	4,346
27	61	16,689	274	4	253	25	4,449	8	911	24	11,076
28	39	24,842	637	3	5,021	22	18,471	1	22	13	1,328
対前年比	▲36.1	48.9	132.8	▲25.0	1884.6	▲12.0	315.2	▲87.5	▲97.6	▲45.8	▲88.0
28/4	6	4,478	746	1	4,000	2	28	-	-	3	450
5	2	89	45	-	-	1	61	-	-	1	28
6	2	510	255	-	-	1	410	-	-	1	100
7	8	1,503	188	-	-	5	1,310	-	-	3	193
8	2	222	111	-	-	-	-	1	22	1	200
9	2	893	447	1	801	1	92	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	3	229	76	-	-	2	80	-	-	1	149
12	1	16	16	-	-	-	-	-	-	1	16
29/1	4	150	38	1	18	2	81	-	-	1	51
2	1	85	85	-	-	1	85	-	-	0	-
29/3	3	1132	377	-	-	2	1096	-	-	1	36
29/4	2	145	73	-	-	-	-	-	-	2	145
対前月比	▲33.3	▲87.2	▲80.8	-	-	▲100.0	▲100.0	-	-	100.0	302.8
対前年同月比	▲66.7	▲96.8	▲90.3	▲100.0	▲100.0	▲100.0	▲100.0	-	-	▲33.3	▲67.8

資料：東京商工リサーチ大分支店「大分県企業倒産状況」（負債総額1000万円以上）

注）「対前年比」、「対前月比」及び「対前年同月比」は増減率

大分県内企業倒産件数、負債額の推移



2-1-8 職業紹介

平成29年3月の有効求人倍率（季節調整値）は1.36倍で、前月を0.05ポイント上回った。正社員有効求人倍率（原数値）は0.96倍となり、前年同月を0.18ポイント上回った。

（単位：人、件、倍、%、ポイント）

			大分県			全国		
			29年3月	前月比(差)	前年同月比(差)	29年3月	前月比(差)	前年同月比(差)
一般（新規学卒者を含む）	求職	新規求職申込件数	5,657	5.6	▲9.7	491,188	5.5	▲3.5
		月間有効求職者数	20,487	5.4	▲7.8	1,879,857	5.6	▲4.3
	求人	新規求人数	10,180	1.6	11.1	980,579	▲3.3	6.5
		月間有効求人数	28,937	5.1	13.0	2,806,583	3.0	6.1
	求人倍率	新規求人倍率	1.98	0.20	0.39	2.13	0.01	0.19
		有効求人倍率	1.36	0.05	0.25	1.45	0.02	0.14
	就職件数		3,072	31.3	▲2.9	196,790	31.4	▲2.0
正社員	常用フルタイム有効求職者数		13,231	5.0	▲9.1	1,248,057	5.7	▲6.4
	正社員新規求人数		4,157	▲6.3	7.0	398,090	▲2.8	7.4
	正社員有効求人数		12,708	2.4	12.5	1,177,065	2.3	6.9
	正社員有効求人倍率		0.96	▲0.03	0.18	0.94	0.02	0.11
	正社員就職件数		1,196	16.3	▲6.0	76,204	15.7	▲3.6

資料：厚生労働省職業安定局、大分労働局

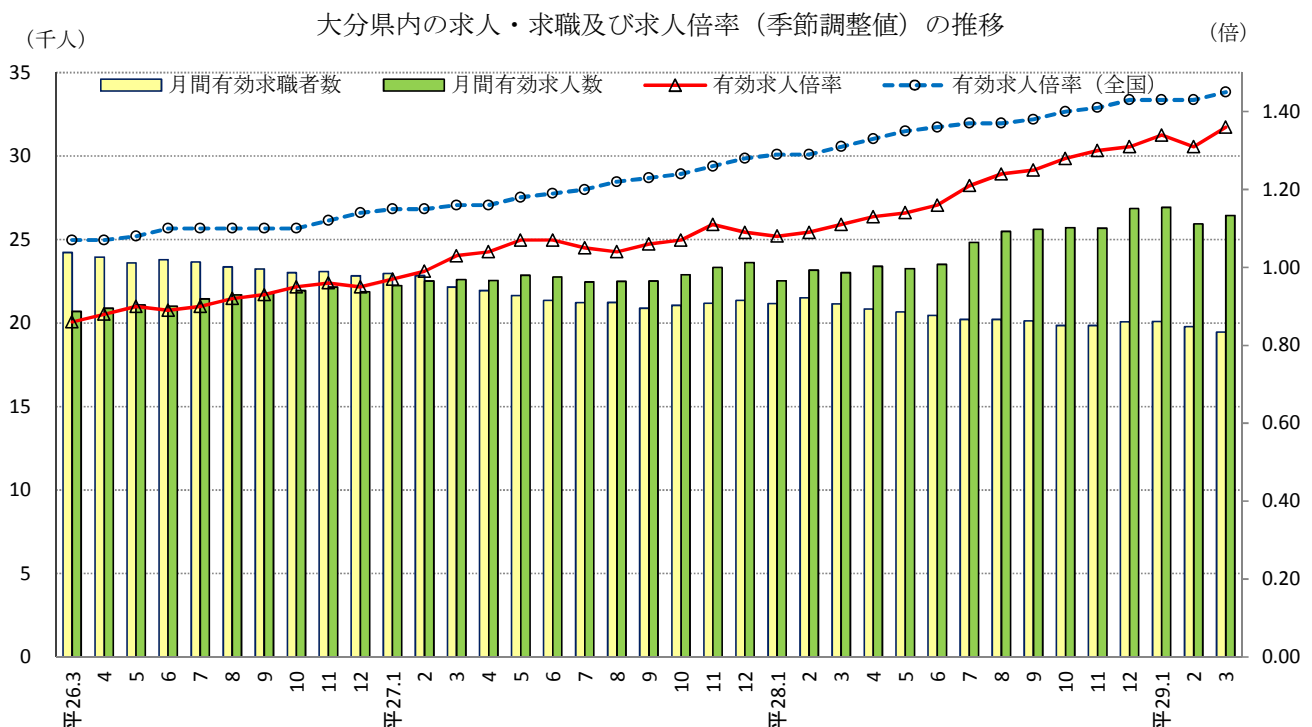
注1：新規求人倍率 = 新規求人数 ÷ 新規求職申込件数

注2：有効求人倍率 = 月間有効求人数 ÷ 月間有効求職者数

注3：「一般」において新規求人倍率・有効求人倍率は「季節調整値」、その他は「原数値」

注4：「正社員」に関する数値はすべて「原数値」

注5：正社員有効求人倍率 = 正社員有効求人数 ÷ 常用フルタイム有効求職者数



安定所別月間有効求人倍率の推移

年度 月	大分	別府	中津	日田	佐伯	宇佐	豊後 大野	大分県 原数値	(単位:倍)		(単位:%)	
									大分県	全国	完全失業率	
										大分県	全国	
23	0.64	0.67	0.66	0.64	0.74	0.80	0.86	0.68	0.68	4.1	[4.6]	
24	0.72	0.67	0.72	0.84	0.81	0.83	0.85	0.74	0.74	4.0	4.3	
25	0.81	0.66	0.78	0.93	0.81	0.86	1.05	0.80	0.80	3.8	4.0	
26	0.95	0.85	0.95	0.87	0.94	1.06	1.17	0.94	0.94	3.3	3.6	
27	1.10	1.00	0.97	0.99	1.06	1.18	1.26	1.07	1.07	2.9	3.4	
28.3	1.20	1.12	1.00	1.05	1.16	1.19	1.26	1.15	1.11	1.31	2.5	3.2
4	1.13	0.99	0.91	0.88	1.07	1.09	1.19	1.06	1.13	1.33		3.2
5	1.11	0.93	0.87	0.94	1.01	1.12	1.24	1.04	1.14	1.35	2.8	3.2
6	1.17	0.96	0.89	0.96	1.05	1.14	1.30	1.08	1.16	1.36		3.1
7	1.24	1.02	1.03	1.08	1.12	1.23	1.31	1.16	1.21	1.37		3.0
8	1.32	1.05	1.05	1.15	1.15	1.27	1.37	1.22	1.24	1.37	2.0	3.1
9	1.39	1.07	1.04	1.14	1.09	1.37	1.37	1.25	1.25	1.38		3.0
10	1.45	1.11	1.07	1.25	1.20	1.45	1.38	1.31	1.28	1.40		3.0
11	1.48	1.09	1.14	1.31	1.30	1.52	1.47	1.35	1.30	1.41	2.6	3.1
12	1.55	1.12	1.19	1.34	1.41	1.78	1.47	1.42	1.31	1.43		3.1
29.1	1.54	1.13	1.26	1.31	1.30	1.66	1.59	1.41	1.34	1.43		3.0
2	1.51	1.20	1.29	1.34	1.31	1.63	1.59	1.42	1.31	1.43		2.8
3	1.53	1.19	1.23	1.42	1.26	1.52	1.56	1.41	1.36	1.45		2.8

九州・沖縄八県別有効求人倍率の推移

	(単位:倍)				
	29年3月	29年2月	28年3月	前月差 (ポイント)	前年同月差 (ポイント)
福岡県	1.41	1.39	1.27	0.02	0.14
佐賀県	1.17	1.17	1.05	0.00	0.12
長崎県	1.12	1.14	1.09	▲ 0.02	0.03
熊本県	1.54	1.47	1.22	0.07	0.32
大分県	1.36	1.31	1.11	0.05	0.25
宮崎県	1.34	1.33	1.15	0.01	0.19
鹿児島県	1.12	1.10	0.94	0.02	0.18
沖縄県	1.01	1.02	0.92	▲ 0.01	0.09
九州平均	1.29	1.27	1.13	0.02	0.16
全国	1.45	1.43	1.31	0.02	0.14

資料：厚生労働省職業安定局、大分労働局「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」

注1：有効求人倍率の各年度は原数値。各月は季節調整値。なお、平成28年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

注2：九州平均は、九州各県の有効求人数(季調値)の合計を有効求職者数(季調値)の合計で除したものの。

注3：完全失業率の推移は年。全国の月分は季節調整値。大分県の期分は、モデル推計値(総務省統計局公表)。

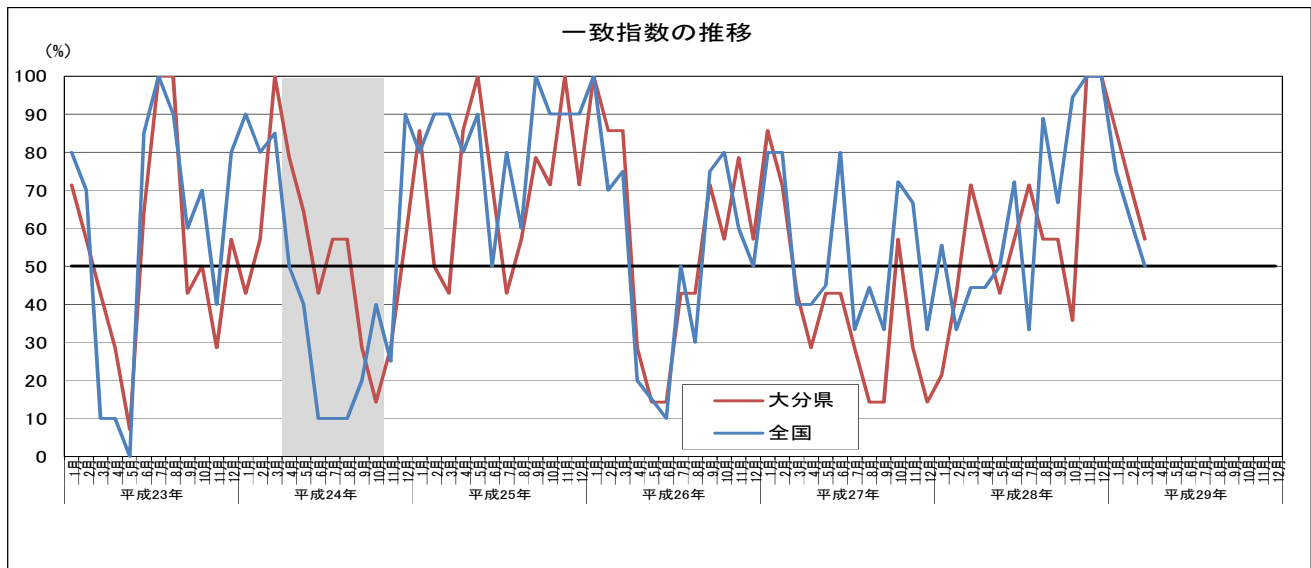
(全国の平成28年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。)

(全国の[]内数値は、補間推計値。)

(大分県の平成28年12月以前のモデル推計値はH28.5.31に遡及改訂されている。)

2-2 景気動向指数

平成29年3月分の大分県景気動向指数(DI)をみると、景気にほぼ一致して動く一致指数は57.1%となり、5か月連続して50%を上回った。また、景気に対し先行して動く先行指数は60.0%となり、2か月ぶりに50%を上回った。他方、景気に対し遅れて動く遅行指数は100.0%となり、3か月連続して50%を上回った。



資料：内閣府経済社会総合研究所、県統計調査課

注1：指数が50%を上回る期間は「景気回復・拡大期」、50%を下回る期間は「景気後退期」とみる。

注2：シャドウ部分は景気後退期（内閣府経済社会総合研究所設定の景気基準日付による）を示す。

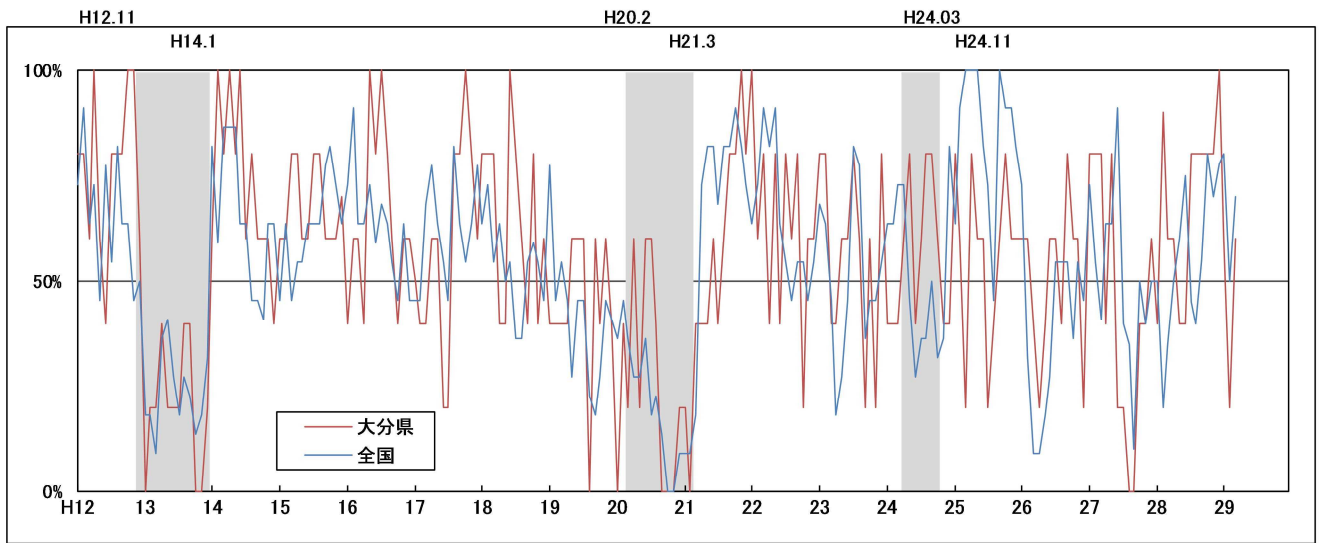
個別指標の動き（平成29年3月分）

プラスの指標	連続月数	マイナスの指標	連続月数
先行系列			
01 新規求人数 (新規学卒除きパートを含む)	1		
		02 生産財生産指数	3
03 生産財在庫率(逆) (出荷及び在庫指数より算出)	1		
		04 着工建築物床面積	3
05 日経商品指数(42種)	9		
一致系列			
		01 鉱工業生産指数	2
		02 鉱工業出荷指数	2
03 所定外労働時間	5		
04 有効求人倍率	13		
		05 県内新車販売台数	1
06 県内輸入額	5		
07 雇用保険初回受給者数(逆)	2		
遅行系列			
01 有効求職者数(逆)	2		
02 常用雇用指数	2		
03 資本財出荷指数	3		
04 第3次産業活動指数	3		
05 大分市消費者物価指数	6		
06 家計消費支出	3		
07 雇用保険受給者実人員(逆)	7		

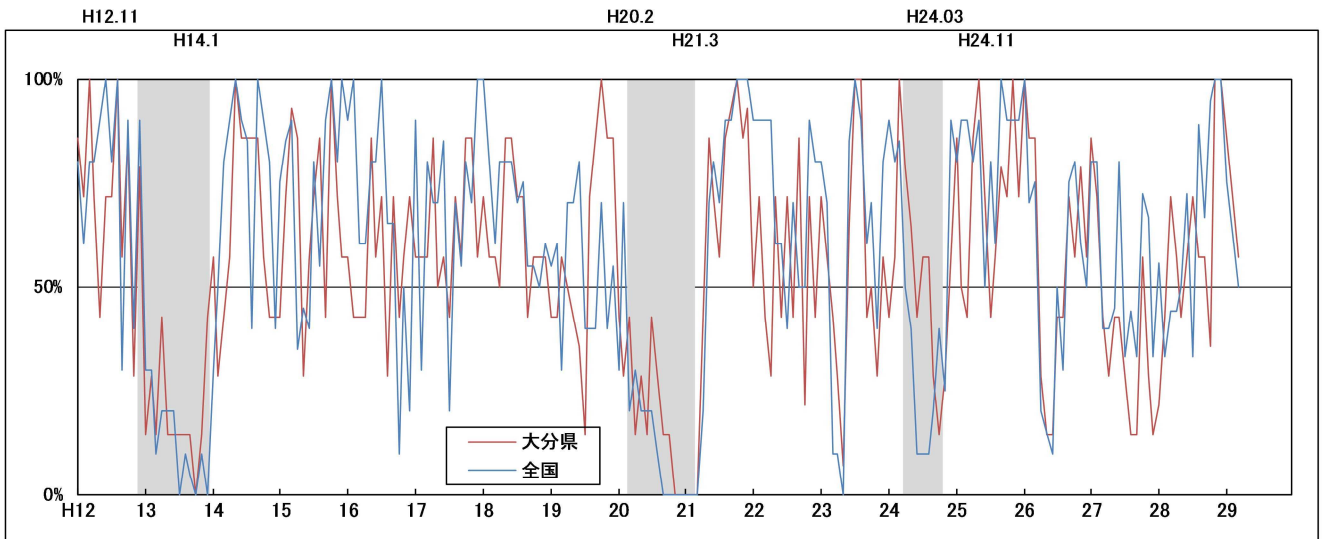
大分県景気動向指数 (DI) の動き

平成29年 3月

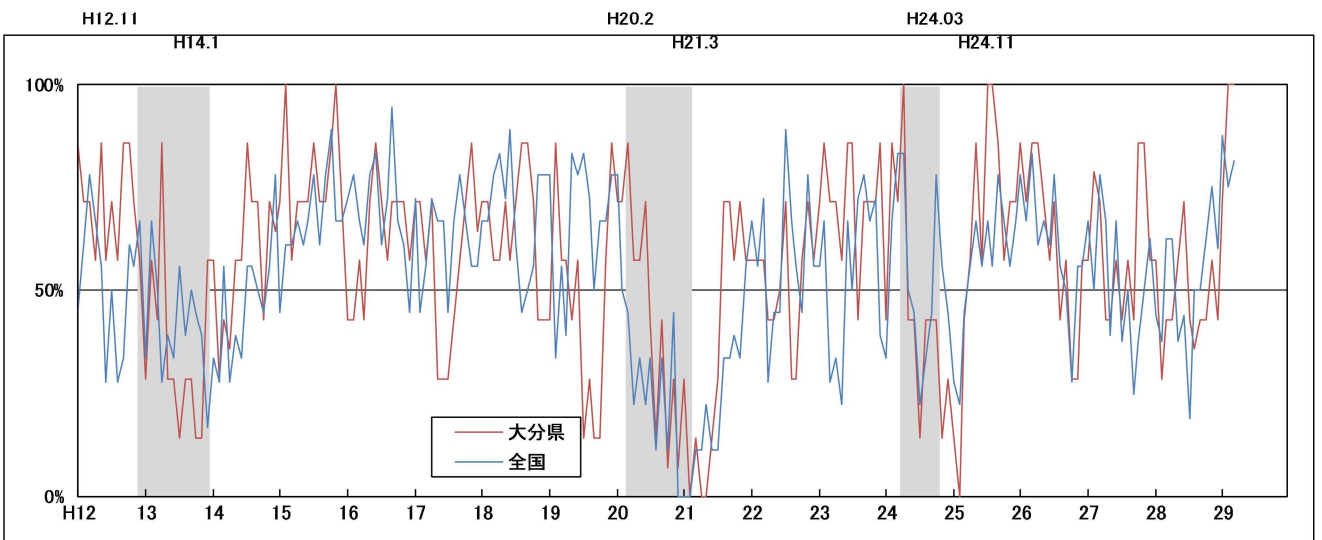
先行指数



一致指数



遅行指数



問合せ先

大分県大分市大手町3丁目1番1号（〒870-8501）

大分県企画振興部 統計調査課 統計企画班

電話：(097) 506-2462（直通）

FAX：(097) 506-1727

メール：a10800@pref.oita.lg.jp